

Clover

立山北部小学校

4年 学年だより

令和4年度 9月号

2学期が始まりました！



厳しい暑さが続いた夏休みも終わり、2学期が始まりました。教室は子供たちの元気な笑顔でいっぱいです。コロナウイルス感染予防のため、これまで同様に制限がある中ではありますが、新しい係の仕事が決まり、新しい学習も始まり、休み時間には久しぶりに友達と遊び、うきうきと新学期を過ごし始めています。

先日、教室で「夏休みも本気・元気・勇気」発表会を行いました。「自由研究や応募作品をがんばった」「洗濯物をたたんだり、ごはんの準備をしたりするなど、お手伝いを続けた」「家の人と決めた約束に真面目に取り組んだ」「野球やバドミントン等の練習に励んだ」等、どの子も充実した夏休みだったようです。また、友達の話聞いて「作品を仕上げるのに10日間もかけ、あきらめずに取り組んでいるのを見習いたい」「夏休みだけでなく、次の目標を決めているのがいい」「自分が決めたことを最後までやりとげているところがすごい」等、友達のよいところを見付け、自分に生かそうとしている様子が見られ、子供たちのやる気を感じました。

2学期は一番長い学期であり、一人一人の力がぐんと伸びる学期でもあります。夏休みで得た経験を土台として、より充実した2学期にしていくことができるように支援していきたいと思います。



お知らせ・お願い

【教科書について】

- ・国語と算数の新しい教科書を配付しました。新しい教科書は、まだ使用しませんので、必要となる時まで家で保管しておいてください。

【生活のリズムを取り戻そう！】

- ・夏休み明けは、生活のリズムを取り戻しきれない子供たちの忘れ物が目立つ時期です。忘れ物をするとう学習や生活に支障をきたすばかりか、子供の志気に関わってこることもあります。忘れ物をしないようご家庭でも声がけをよろしくお願いします。

【運動会の練習が始まります】

- ・汗拭きタオルや水分を多めに持たせてください。また、早めに寝て疲れを残さない、朝食をしっかり取って十分な栄養をとるなど、元気に過ごすことができるように健康管理をお願いします。
- ・爪がとても長いお子さんがいます。競技の練習等で、物にぶつけて爪が割れたり、友達に接触して相手を傷付けたりすることがあるかもしれません。安全面、衛生面の観点から、適切な長さに整えてください。
- ・体育服が汗や泥等で汚れたときは、毎日持ち帰ります。洗濯をして乾かない場合は、運動しやすいTシャツを持たせてください。



おすすめの家庭学習

- | | |
|----|---|
| 国語 | ・いろいろな場所にあるパンフレットを読んで、どんな工夫があるかを探してみる。 |
| 算数 | ・わり算の筆算練習をする。 |
| 理科 | ・秋の生き物や植物の様子を観察し、「ほくbook」に投稿する。
・星座早見板を使って星座を観察する。月を観察し、形の変化を毎日記録する。 |
| 社会 | ・自然災害について、気になったことを調べる。 |
| 総合 | ・地球温暖化を防ぐために自分たちにできることを調べたり、実践したりする。 |



社会科の学習から



社会科では「自然災害からくらしを守る」の学習を始めました。まず、夏休み中の大雨について話を聞きました。「ニュースで車のタイヤが半分ほどの高さまで水に浸かっているのを見た」「富山市で水浸しになった小学校があったよ」「川の水がすごく増えていた」等、大雨の被害に驚いた様子でした。次に実際に起こった地震や津波、火山の噴火等の自然災害の様子を電子黒板で視聴しました。視聴する前に、地震の揺れを感じた経験について聞くと、揺れを感じた経験のある子供はクラスの2/3ほどでした。しかし、実際に映像を見ると、「えっ！地震ってこんなに揺れるの？」と、とても驚いた様子でした。揺れで天井が落ちてくる様子を見たり、地震後、高速道路が横倒しになっていたり、多くの家屋が潰れたり、山が崩れたりする映像を見たときには、自分が経験した揺れとは全く違ったようで、多くの子供たちが驚きながら映像に見入っていました。自然災害の様子を目で見て実感したことを基に、これからの学習では自然災害に備える意識を高めていってほしいと思います。

日本では、とてもたくさん地震が起きていることを知り、とてもびっくりしました。東日本大震災では、死者・行方不明者が2万2千人以上いることにも驚きました。けがをした人もたくさんいると思うので、自然災害はとても怖いと思いました。自然災害はとても怖いので、避難所や非常食以外にどんな備えをしたらよいかなどについて調べたいです。



私は大きな地震の経験はなく、自然災害についてよく分かっていませんでした。映像を見て、家が倒れたり、火事が起きたり、津波で建物などが流されたりするなど、自然災害の被害は大きく、とても怖いと思いました。もし自分がその場にいたらどうすればいいだろうと思いました。だから、どんな備えが必要か調べたいと思いました。

国語科の学習から

国語科では「対話の練習『あなたなら、どう言う』」の学習をしました。右の「散らかった部屋」という状況にいる二人が、互いの立場から何を思い、どのような言葉を発するのか、その言葉を受けた相手がどのような感情になるか実際にロールプレイを通して実感し、その感じ方を共有しました。

- ・「早く片付けてよ」といきなり言われると、言い返したくなる。
- ・なぜ、散らかっているのか、理由を聞いてほしい。
- ・二人とも自分のことばかり言っている。等

その後、どうすればお互いに納得できるか、よりよい言い方について考えました。

- ・「何をしているの？」と聞いてくれると、理由を言いやすい。
- ・「一緒にかたづけよう」と言われると、「ありがとう」と、お互いに優しく言える。

このように実際にロールプレイを通して、よりよい対話をするためには、「自分がどう思うかだけでなく、もしその人の立場だったらどう思うかを考えること」が大切だと気付くことができました。



お姉さんの役と弟の役になってのやり取り

私は、いつもお姉ちゃんに強い言い方をしていたと気付きました。だから、けんかになることもあったのだと思います。対話の勉強をして、言い方に気を付け、相手を理解しようとする心が大切だと思いました。



お姉さんが家に帰ってきたら、弟のおもちゃや本が部屋中に散らかっていました。あなたがお姉さんの立場だったら、弟に対してどう言いますか。

<お姉さん>

これから友達が遊びに来るので、部屋をきれいにしたいと思っている。

<弟>

たなを掃除するために、おもちゃや本を出していた。